

旅と観光の世界史（総目次）

前編（古代から鉄道の誕生まで）

第1部 古代の旅

第1章 旅の始まり

旅と観光

旅と旅する人々の記録

伝承の語る旅：「ギルガメシュ叙事詩」

第2章 古代ギリシャ時代の旅

伝承と事実の間：叙事詩「オデュッセイア」の旅

オデュッセウス遍歴の道程

神話・叙事詩から科学へ：神々から人間へ

ヘシオドスの叙事詩：初めての生身の人間の声 学者たちの旅

ヘロドトスは元祖トラベルライター

神々の祭典と競技会

古代オリンピック大会

兵士たちの旅

アナバシス（敵中横断 6000 里）

第3章 アレクサンドロス大王とヘレニズム時代

アレクサンドロス大王東征記

軍事遠征と探検 アリアノスのインド誌 大王を引き返させた将兵の抵抗

ヘレニズム文化：アレクサンドロスが残したもの

知的遺産の保存 アレキサンドリア建設 アレキサンドリア図書館

共通語としてのギリシャ語 書物の校訂

古代の群像と伝記文学

ヘレニズム時代からローマへ

第4章 古代の旅のインフラ（ローマ以前）

旅のインフラとしての道路

交易路と一般の道 王の道：計画的道路建設 交通手段としての馬と馬車

海の道

古代の船と航海の技術 エリュトラ海案内記

宿泊と食事

異人歓待と客人権

地図と情報

旅のガイドとガイドブック

第5章 古代ローマ帝国時代の旅行事情

ローマ帝国の街道と道路

ローマの街道を利用した人々

旅のインフラ

乗用の馬車 サービスステーションと宿場 観光旅行 「ローマの平和」と治安 酒場と宿屋

地図と情報

ローマ時代の旅行地図 ガイドブックの元祖パウサニアス

ローマ時代の余暇と娯楽

パンとサーカス 劇場と円形闘技場 ローマ時代の浴場

サチュリコンの世界：逸楽と飽食のローマ文化 世界遺産ポンペイ
ローマ帝国の衰退と滅亡

第2部 中世の旅

第1章 イスラム社会の旅

イスラム帝国の建設

預言者ムハンマド アラブ帝国の建設 アラブ帝国からイスラム帝国へ
イスラム帝国の分裂と並立 イスラム大征服はなぜ可能であったか

陸路の旅：キャラバンとキャラバン・サライ

キャラバン（隊商） キャラバン・サライ（隊商宿） 旅の安全と生活保障

メッカへの巡礼

交通と旅のシステム 公式の巡礼路 国家による巡礼隊の組織 巡礼の旅と経済

学者たちの旅

イブン・ジュバイルの巡礼記 イブン・バットウータの3大陸旅行 サハラ砂漠南縁への旅
イスラム都市と学術・文化の交流

海のシルクロード

海上旅行の物語 船乗りシンドバッド 千夜一夜物語（アラビアンナイト）

第2章 ヨーロッパ中世の旅

中世とは ギリシャ中世との対比 ヨーロッパの中世

1. 中世前期の旅

民族流動の時代 キリスト教の浸透 修道院と修道僧 修道院のもてなし
ベネディクト修道会の会則 初期のキリスト教の巡礼 ローマ時代の「エゲリア巡礼記」
中世前半の巡礼

2. 十字軍の時代：西ヨーロッパの転換期

西ヨーロッパの独立

キリスト教の変貌 最高權威のローマ教会 ローマ教皇とビザンチン皇帝
教皇と神聖ローマ帝国皇帝 十字軍前夜

聖地エルサレムへの十字軍

キリスト教徒と戦争 第一次十字軍の結成 隠者ピエールと民衆十字軍
エルサレム奪還と十字軍国家 後続の十字軍

3. 地中海の海運

西ヨーロッパから聖地エルサレムへの交通路 十字軍の海上輸送：地中海海運の発展
ヴェネチア海運と第四次十字軍 地中海の制海権

4. 中世後期の旅

中世後期の巡礼：サンチャゴ・デ・コンポステラへの巡礼

サンチャゴ・デ・コンポステラ事始め 聖ヤコブ伝説 サンチャゴ巡礼案内書
宿舎としての施療院 巡礼地サンチャゴ・デ・コンポステラの発展
俗人のサンチャゴ巡礼 巡礼から楽しみの旅へ

巡礼資源と巡礼動機

聖人・聖遺物・奇蹟願望&観光 キリスト教の聖年

聖地巡礼のパッケージツアー

サント・ブラスカの巡礼記 巡礼の旅程 ヴェネチアの観光事業
世界初のインバウンド国際観光事業 旅行記の出版：日記と自伝

カンタベリー物語

商業の旅

シャンパーニュ大市 遍歴商人の旅の記録 ボッカッチョの商人の旅

建築職人と芸術家の旅

遍歴職人の旅 ティル・オイレンシュピーゲルの物語

旅芸人の世界

トルバドゥール

新しい旅

5. 旅の施設とサービス

中世ヨーロッパの内陸交通

道路と街道 水路と船旅

旅の障害：追剥・税金・不法行為

追剥と泥棒 旅行と税金 不法行為に対する法的保護

宿と食事

異人歓待と客人厚遇

原始的異人歓待 ヨーロッパ中世の異人歓待 無償の異人歓待から有償の異人歓待へ

居酒屋と宿屋 中世末期の宿屋

第3部 中世から近代へ

第1章 異郷「東方」の発見

二つの異郷 プレスター・ジョン伝説

西欧からモンゴルへの使節団

カルピニの「モンゴル旅行報告」 ルブルクの旅行報告

マルコ・ポーロの「東方見聞録」

画期的な書「東方見聞録」 「東方見聞録」の内容 モンゴルの駅伝制度

オドリコからマンデビルへ：読む娯楽の誕生

オドリコの「東洋旅行記」 マンデヴィルの「東方旅行記」

第2章 大航海の時代

地中海から大西洋へ

ガレー船から帆船へ コンパスの発明 ポルトラーノ地図の出現 カタロニア図

ポルトガルによるインド航路への挑戦

エンリケ航海王子 ジョアン二世のインド航路探索 バルトロメオ・ディアス喜望峰を越える

トルデシリアス条約 ヴァスコ・ダ・ガマによるインドへの初航海 ポルトガルのアジア戦略

アメリカ新大陸の発見

コロンブスの第1回航海 2回目以降の航海 アメリゴ・ヴェスプッチの航海

バルボアの太平洋発見

マゼランの世界一周

ポルトガルとスペインの香料諸島を巡る先陣争い 海峡の発見と通過 太平洋の航海

帰国の航海

世界地図と地球儀

プトレマイオスの世界図 中世末期の世界図 地球儀

第3章 ルネサンスと宗教改革期の旅

1. 古代の復活（ルネサンス）

抑圧された精神の自由

革新の12世紀

知性の解放と大学の誕生

イタリア最古のボローニャ大学 教師の大学・パリ大学 文献と翻訳

古代遺跡の再発見 遺跡の発掘と保存：考古学の芽生え

文学の再生と人文主義

初期の人文主義者たち：ダンテ、ペトラルカ、ボッカッチョ 人文主義者とキリスト教

北方の人文主義者：エラスムスとトマス・モア

2. 宗教改革と宗教戦争：プロテスタントの登場

ドイツの人文主義者たち

ルター登場 印刷術の発明

カトリック教会の対応：トリエント公会議

イエズス会

3. 14～16 世紀の旅

学生の遍歴と放浪

トマス・ブラッターの遍歴旅行

人文主義者の旅

ペトラルカと旅 ペトラルカのドイツへの旅 ペトラルカの風景美の発見

ローマへの旅 エラスムスと旅 アルブレヒト・デューラーの旅日記

4. 観光旅行の誕生

初の観光旅行者モンテーニュ

旅日記：旅程の概要 世界初の観光旅行

モンテーニュと旅

旅への憧れ 旅に求めるもの 旅の教育的効果 外国旅行

16 世紀の旅のサービス

シャルル・エティエンヌの「旅行ガイドブック」 モンテーニュ旅日記に見る旅行サービス

第 4 章 マゼラン以後の世界

ポルトガルの海外帝国とアジア

フランシスコ・ザビエルの布教の旅 天正遣欧使節

日の沈まぬ国スペイン

マヤ・アステカ・インカ 南米大陸東海岸

カリブの海賊：フランスとイギリスの挑戦

フランス・ユグノーの私掠船 イギリスの台頭 女王陛下の海賊ドレーク 太平洋航路の開発

アジアにおけるオランダ

リンスホーテンの「東方案内記」 東インド会社とバタヴィアの建設 リーフデ号の日本漂着

北アメリカ大陸へ

イギリスとフランスのカナダ探検 イギリスの東海岸植民地

大航海時代叢書：航海記・旅行記の氾濫

航海記の集大成

ユートピア旅行と月世界探検

ゴドウィンの「月の男」 シラノ・ド・ベルジュラック「月世界旅行」 ロビンソン・クルーソー

第 4 部 近代ツーリズムへの助走

第 1 章 新しい旅の形

用語としてのツーリズム

1. ツーリズム誕生前夜：17 世紀初頭から 18 世紀中頃まで

優位に立つフランス

知的エリートの旅

観光旅行の目的地 旅を好まなかった古典主義者 氾濫する旅行記と旅行案内書

2. 英国人のグランドツアー

17世紀のイギリス グランドツアーの始まり グランドツアーの種々相
グランドツアーの目的地：フランスとイタリア グランドツアーが促進したポンペイの発掘
グランドツアーの衰退

3. 滞在型観光の誕生：上流社会の夏の楽しみ

温泉保養地の誕生

バースの《革命》 温泉の館（テルメ）と街づくり 大陸の湯治場 湯治場と医学
海浜リゾート「ブライトン」の誕生

第2章 ツアーからツーリズムへ

18世紀半ばの観光維新

啓蒙の世紀 百科全書

ジャン・ジャック・ルソーと自然観光

スイス詣での始まり 「エミール」第5巻

登山への挑戦：ルソーからド・ソシュールへ

ルソーが愛した自然 アルプス登山の始まり ド・ソシュールとモンブランの登頂

スポーツとしての登山 避暑リゾートの誕生

避寒地コートダジュールの誕生

誕生の背景 保養地イェール ニースの利点 避寒生活と受け入れ体制

第3章 フランス革命と産業革命：18世紀から19世紀へ

1. フランス革命とナポレオン

行き詰る旧体制

構造改革の挫折 革命の勃発 人権宣言 追いつめられる国王 国王のパリ脱出

アーサー・ヤングの現地レポート 対仏同盟と国民軍の創出

ナポレオン登場

エジプト遠征 ロゼッタ・ストーン ナポレオン帝政

2. イギリスの産業革命

イギリスの貴族

100年戦争からバラ戦争へ 絶対王政下の諸身分と権力組織

産業革命の進展

綿工業の発展 輸送革命：馬から機械へ

第4章 旅客鉄道誕生以前の旅行サービス

1. 街道の整備と乗用馬車

乗用馬車の発展

荷馬車から乗用馬車（コーチ）へ 郵便と馬車

フランスの街道整備

フランス革命前の状況 ナポレオンの街道整備事業 乗合馬車とディリジャンス

英国の内陸交通

ターンパイク マカダム舗装 イギリスの駅馬車 郵便馬車 駅馬車も繁盛
運河

河川用蒸気船と鉄道

フルトンの蒸気船 イギリスの蒸気船 レマン湖の蒸気船 最初の鉄道

ストックトン～ダーリントン鉄道

2. 宿泊施設

フランスの場合

出発港ドーバー カレーのホテル フランスの「ホテル」 田舎の宿

イギリスのイン

- ヴェネチアの場合
3. 近代ツーリズムの時代へ

後編（鉄道誕生から現代まで）

第5部 近代ツーリズムの時代

近代ツーリズムとは

第1章 旅客鉄道の誕生と発展

初の旅客鉄道：リバプール・マンチェスター鉄道

鉄道による交通革命

イギリスの鉄道の発展

自由競争から統合へ 政府の干与 鉄道清算所の設置 ゲージ戦争 標準時と時刻表

ブラッドショーの時刻表

ヨーロッパ大陸諸国の鉄道

フランスとドイツ 観光国スイス アルプスの鉄道トンネルと国際列車

アメリカの鉄道に学んだヨーロッパ

第2章 近代的ホテルの誕生と発展

1. ヨーロッパのホテル

ステーション・ホテルの登場

地方のステーション・ホテル 急増するホテル

近代的豪華ホテル

オスマンのパリ大改造とグランドホテル グランドホテル・デュ・ルーブル誕生

グランドホテルの時代 パレス級ホテル

2. アジアのコロニアル・ホテル

サーキーズ兄弟 ラッフルズ・ホテルとラッフルズ卿 コロニアル・ホテルあれこれ

3. アメリカのホテル発展史

ワシントン大統領の国内視察旅行 タバーンの時代

タバーンからホテルへ：第一世代のホテル

失敗したユニオン・パブリック・ホテル ニューヨークのシティ・ホテル

ボストン・エクスチェンジ・コーヒーハウス&ホテル

第一世代のホテルの特徴

経済との関わり 社会と文化との関わり 女性の利用客とホテルの戦略 ホテルは迎賓館

交通革命と内陸開発

第二世代のホテル（1815~40）

第二次ホテル建設ブーム トレモント・ホテル 交通機関の発達との連動

フィラデルフィア万国博覧会（1876年）まで

コマーシャル・ホテル リゾート・ホテル 鉄道ホテルとセツルメント・ホテル

大陸横断鉄道 南北戦争の影響 フィラデルフィア万国博覧会

フィラデルフィア万国博以降

ウォールドルフ・アストリア・ホテル

スタットラーによるホテル経営の刷新

1ドル半でバス付の部屋を

世界に進出するアメリカのホテル

シェラトン・チェーン ヒルトン・チェーン 航空会社のホテル業への進出

ホリデーインとモーテルの近代化

第3章 旅行業の誕生と発展

旅行業というビジネス

1. 旅行業の創始者トマス・クック

旅行業誕生の瞬間 旅行促進にかけた情熱と使命感 利益を出すリヴェアブル・ツアー
ドル箱のスコットランド・ツアー 第1回ロンドン万国博への集客

旅行業専業への壁 p 1

鉄道会社への依存 スコットランドからの締め出し 初のヨーロッパ大陸へのツアー
労働者の祭典ツアー

1862年：旅行業の転回点 p 7

第2回ロンドン万国博 大陸への本格的進出 スイス・ツアーの成功
スイスからイタリアへ クックの法則 ホテルとの関係改善

世界制覇への道 p14

英国のライバルたち 冬の中東ツアーによる事業の通年化 クック父子の路線対立
ジョンによる大衆路線の放棄 世界最大の企業へ

マス・ツーリズム時代の到来とクック社の後退 p20

クリエイティブ観光エージェント会議 労働運動の高まり 落日

2. アメリカの旅行業者

トマス・クックのアメリカ支社 p22

アメリカ旅行業者協会（ASTA）の設立 p 24

汽船会社とのコミッション交渉 旅行業者とホテルとの関係 旅行業者と鉄道との関係
航空機の登場

第4章 新しい観光対象と関連産業の成長

1. 海浜リゾートの開発

イギリスの海浜リゾート

勤労者階級の海浜リゾート進出 レジャー栈橋 スケグネスの開発

フランスの場合

2. 都市の観光魅力

1) パリで生まれたレストラン

レストランの語義 旧体制下のパリ外食事情 レストランの誕生

2) コーヒーハウス（カフェ）とパブの始まり

コーヒーという飲み物

ロンドンのコーヒーハウス

仕事場兼情報収集の場 ジョン・マッキーのコーヒーハウス巡り

パリのカフェ

カフェ・プロコップ ナイトライフと盛り場

3) カジノ

カジノ事始め フランスのカジノ

3. 万国博覧会の開催：その意義と影響

内国産業博覧会から万国博覧会へ

第1回ロンドン万国博覧会の衝撃

第1回パリ万国博の理念

フランスのモード産業の誕生と発展

衣生活の自由化 既制服の登場 マガザン・ド・ヌヴォーテ デパートの誕生
都市内交通の改善：移動手段としての乗合馬車
市内交通としての乗合馬車
万国博覧会の及ぼした影響と巨大博物館
大英博物館 ルーブル美術館

4. 観光行動の広がり

1) 自転車の登場とサイクリング

自転車の歴史

ミショーからターナーへ 安全自転車「セイフティ」 サイクリング・ブーム

サイクリングと女性解放

2) 近代スポーツの誕生と発展

スポーツもイギリスで誕生

近代オリンピックの誕生

ピエール・ド・クーベルタン 第1回アテネ・オリンピック大会 世界平和への祈願

冬期オリンピック大会の始まり

3) 近代的旅行ガイドブック・シリーズ

4) 観光促進組織の発生

地方観光協会の誕生 国の観光宣伝機関の設立

5. 観光資源の保護と活用

「文化遺産」意識の登場：フランスの場合

イギリスのナショナル・トラスト

湖水地方の環境保護運動 入会地保存協会 オクタヴィア・ヒルの戦い

ナショナル・トラストの誕生と発展

歴史的建造物の保護 ネプチューン計画

国立公園の誕生：アメリカの自然保護思想

西部開拓 自然保護の先駆者たち 自然保護の父ジョン・ミュア

国立公園誕生前史

「公園」の誕生と変遷

アメリカの都市公園

田園墓地 ニューヨークのセントラルパーク

国立公園への道

ナイアガラの教訓 ヨセミテ州立公園の成立

イエローストーン国立公園の成立

コルターとブリジャー イエローストーンの夜（1870年9月19日） 鉄道の支援

ヘッチヘッチー論争（開発か自然保護か）

ミュア対ピンショー 国立公園をめぐって

第5章 大陸間旅行の発展：帆船から蒸気船へ

1. 汽船による大西洋横断事始め

最初の海洋蒸気船サヴァンナ号 ロイヤル・ウィリアム号

シリウス号とグレート・ウエスタン号

2. 蒸気船定期航路

大西洋航路：キュナード対コリンズ

インド洋からアジア、オセアニアの海へ

P&O 汽船会社 希望峰廻りの航路 黒船来航 スエズ運河開通
太平洋航路

パシフィック・メイル・ライン カナディアン・パシフィック・ライン 日本も世界の海へ
豪華客船の時代

巨船化と高速化の競争 第一次大戦後：豪華客船の全盛時代 アメリカの繁栄
定期客船航路の終焉

3. 世界観光の時代へ

定期航路の船旅

帆船の時代 ディケンズのアメリカ紀行：汽船の旅事始め サッカレーの地中海紀行 初
の大西洋横断パック・ツアー

初の世界一周観光

トマス・クックの世界一周 ジュール・ヴェルヌの「80日間世界一周」

その後の世界一周旅行

4. クルーズの発祥と発展

クルーズ船観光事始め

マーク・トウェインの「赤毛布旅行記」 初クルーズの実態 聖地では
ヨーロッパ放浪記 早過ぎたクルーズ

初期の観光クルーズ

フィヨルド・クルーズ 地中海クルーズ

世界一周クルーズ

世界4分の3周クルーズ パナマ運河開通後の世界一周クルーズ

日本に寄港した客船とクルーズ船

第6部 マスツーリズムの時代

第1章 マスツーリズム前夜

1919年夏

1. 勤労者階級のツーリズム参加

イギリスの銀行休日法 有給休暇の発生

有給休暇法とILO：有給休暇の国際化

フランスの有給休暇法 ILO第52号条約 1936年の希望

マスツーリズムへの道程

スイスから広がったコロニー・ド・バカンス フランスの休暇家族の家

経済先進国イギリスの場合

イギリスの青少年ホリデー・キャンプ バトリンのホリデー・キャンプ

勤労者のホリデー・キャンプ 労働組合のホリデー・センター

戦中・戦後のホリデー・キャンプ

独裁国家の余暇対策

ムッソリーニの試み ナチス政権の余暇対策事業

太陽信仰の始まり

1936年の夏、フランス

ユースホステルの誕生と国際展開

ワンダーフォーゲル運動 イギリスで誕生したボーイスカウト ユースホステルの始まり

ユースホステル運動の国際展開

観光バスの登場

自動車の誕生と発展 モーター・バスの誕生 観光専用のバス

2. 注目される国際観光

国際観光と経済

初期の国際観光収支 ブレトン・ウッズ体制

国際観光と政治（平和）

第一次世界大戦後の世界 知識人たちの悲願 汎ヨーロッパの思想

ツヴァイクと「未来の国ブラジル」 林語堂の「人生をいかに生きるか」 失われた地平線

公的観光機関国際同盟の誕生

国際観光統計の始まり

第2章 第二次世界大戦後のツーリズムの展開

1. 国民観光の促進：マスツーリズム時代の到来

ソーシャル・ツーリズム運動：「万人に観光を！」

ソーシャル・ツーリズムとは

ソーシャル・ツーリズム運動の内容

ソーシャル・ツーリズム国際大会 初期のソーシャル・ツーリズムの施策

フランスの家族休暇村 需要面の施策例

2. 第二次世界大戦後の国際観光

国際観光の容易化

1) マーシャル・プランと国際観光

マーシャル・プランとは マーシャル・プランの目的と条件

マーシャル・プランに取り上げられた観光事業

マーシャル・プランによる観光事業振興策 自由ドルの確保 観光宣伝の成果

2) 国際バカンス商品の誕生

非営利法人から営利企業へ：地中海クラブの例

地中海クラブの誕生 地中海クラブの世界展開 地中海クラブのコンセプト

マスツーリズム最大の受入国スペイン

スペインの国際観光事始め 航空旅行商品の大量生産 リゾート大国スペインへ

観光開発の負の影響

個人的バカンス体験

マジョルカ島のアパートホテル コスタ・ブラバの休暇村 冬のバカンス

3. 航空観光の時代へ

飛行機の誕生と初期の発展

領空主権の問題

両大戦間の航空旅行の発展

第二次世界大戦後の航空輸送

シカゴ条約による民間航空の秩序

領空主権の制限 ICAO と IATA バーミューダ協定 大西洋の観光運賃をめぐる

IATA 対 ASTA

定期航空とチャーター航空

規制に縛られた定期航空 欧州内不定期航空業務の商業権に関する多角協定

定期航空とチャーター航空の運賃格差 定期航空の IT 運賃

航空規制緩和への道

観光と航空に関する国際会議 レイカー航空の挑戦

WTO と IATA 共催の観光と航空輸送に関する国際会議 第二バーミューダ協定
アメリカの航空規制撤廃政策

1974 年の行政訴訟 航空規制撤廃法の成立 1978 年の米国モデル協定
格安航空会社の登場

サウスウェスト航空の誕生 サウスウェスト航空のサクセス・ストーリー
ライアン航空他

4. アジア太平洋地域の国際観光の始まりと発展： PATA の果たした役割

PATA (アジア太平洋観光協会) の設立

サーストンの電報 第 1 回太平洋地域観光会議 観光立国を目指していたハワイ
ASTA コンベンション、初めてヨーロッパで開催 ETC が参考になった

PATA の初期の組織と活動

本部をサンフランシスコへ

ディスカバー・ザ・パシフィック

チェッキリポート「太平洋・極東地域における観光事業の将来」

ユニークな PATA の支部活動：マーケティング活動の革新

地域支部 Area Chapter の設立

プロモーション支部 Promotional Chapter の導入

支部だけ会員の制度 観光宣伝手法の変化：一般消費者向けから旅行業者対象へ
トラベルマートの開催

観光産業の人材育成

先行するハワイ ハワイ州立大学に観光産業経営学部を設立 途上国での観光教育

観光開発と資源保護：PATA の新しい使命へ向けて

観光開発委員会 Development Authority の設立 PATA タスクフォースの派遣

事例としてのチェンマイ PATA 礼賛

第 3 章 観光史の視点

1. 観光現象のメカニズム

観光現象の 5 つの領域

観光史と 5 領域

交通手段領域 観光市場領域 観光目的地領域 旅行業領域 外的要因領域

2. 国際観光商品の生産と流通

旅行商品の自己生産と注文生産

パッケージツアー（市場生産）の生産と販売

旅行業者の機能と役割 2 種類の旅行商品

3. 観光における現代的諸問題

国際観光の消費者保護

観光開発と環境

観光分野の調査と統計